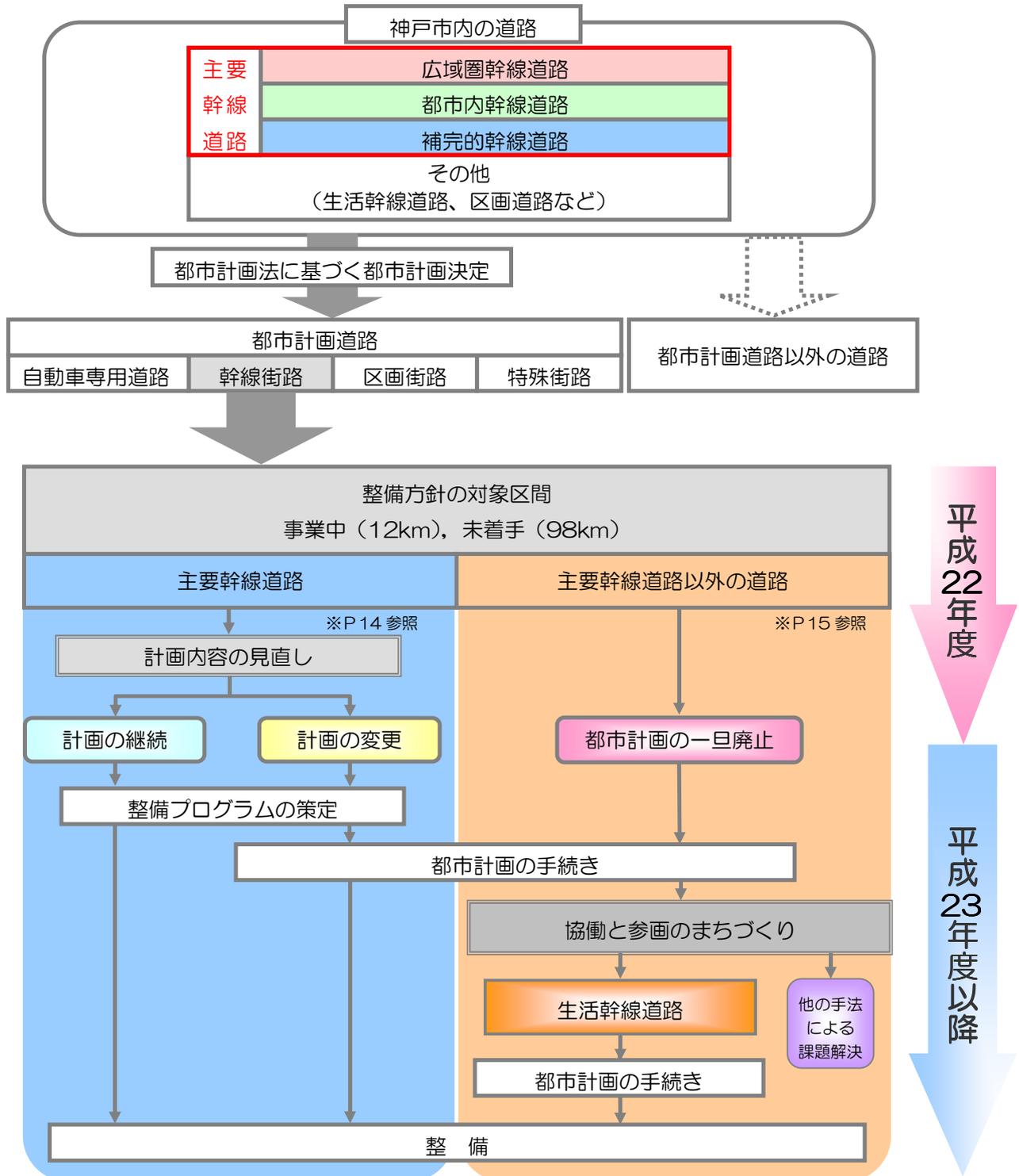


(1) 今後の都市計画道路の整備の流れ



(2) これまでの都市計画道路の見直しの経過

都市計画道路は、都市の将来像を実現するための基盤として、将来交通量等をふまえて計画するものです。その整備には長期間を要することから、社会経済情勢の変化等に合わせたその必要性を検証し必要に応じて都市計画を変更することがあります。

神戸市では、これまでの都市計画道路の全市的な見直しを、次のとおり実施してきました。

これまでの全市的な見直しの経過

	都市計画決定・変更の事項
昭和21年度	既成市街地における都市計画道路網の決定 126路線、約230km
23年度	新市街地における都市計画道路網の決定 23路線、約270km
39年度	西神地区、鈴蘭台地区の開発動向に合わせた道路の追加・削除 神戸母里線、長田箕谷線など10路線
43年度	須磨地区の街路再検討による道路の追加・変更 神戸土山線（須磨多聞線）、千森線など6路線
45年度	西神住宅団地関連道路の追加・変更 西神1号線、西神2号線、西神3号線など13路線
51年度	第1次街路網再検討 49路線（変更21路線、見直し28路線）
54～55年度	第2次街路網再検討 19路線（追加3路線、変更16路線）
55年度	西神A地区の再検討及びB・C地区の追加・変更 （井吹環状線、井吹中央線、西神中央線など18路線）
62年度	本四連絡道関連道路の追加・変更 本四関連道神戸線、須磨多聞線など17路線
平成6年度	震災関連道路の追加・変更 松本線など36路線
7～11年度	震災復興関連の追加・変更
12年度	『今後の神戸の都市づくり』の策定・公表 ・見直し提案18路線 （幅員変更4路線、線形変更5路線、まちづくりに合わせた幅員の変更5路線、計画の廃止4路線） ・新たな道路計画の提案12路線
13年度	車線数の一括表示

